

苫小牧港利用促進協議会

令和 8 年度 総 会

報告事項	報告第 1 号	令和 7 年度一般会計事業報告
	報告第 2 号	令和 7 年度一般会計決算報告
	報告第 3 号	令和 7 年度特別会計事業報告
	報告第 4 号	令和 7 年度特別会計決算報告
	報告第 5 号	令和 7 年度ポートセールス積立金決算報告
	報告第 6 号	令和 7 年度会計監査報告
協議事項	議案第 1 号	令和 8 年度一般会計事業計画（案）
	議案第 2 号	令和 8 年度一般会計予算（案）
	議案第 3 号	令和 8 年度特別会計事業計画（案）
	議案第 4 号	令和 8 年度特別会計予算（案）
	議案第 5 号	令和 8 年度ポートセールス積立金予算（案）

報告事項

令和7年度 一般会計 事業報告

1 会議・講演会の開催

(1) 理事会及び総会の開催

開催日（場所）	項目	内容
令和7年6月9日（月） （グランドホテルニュー王子 2F 桔梗の間）	理事会	議事 1 当該年度総会提出議案
令和7年6月9日（月） （グランドホテルニュー王子 3F グランドホール南）	総会	議事 1 前年度一般・特別会計事業報告 2 前年度一般・特別・ポートセールス積立金決算報告 3 前年度会計監査報告 4 当該年度一般・特別会計事業計画(案) 5 当該年度一般・特別・ポートセールス積立金予算(案)

(2) 講演会の開催

開催日（場所）	項目	内容
令和7年6月9日（月） （グランドホテルニュー王子 3F グランドホール南）	講演会	演題 カーボンニュートラルレポートの形成に向けて 講師 中川 研造 様 （国土交通省港湾局産業港湾課長）



2 国内外ポートセールス活動

国内外各地の荷主及び船社等に対するポートセールス活動の実施（訪問活動）

訪問件数：延べ 61 件

訪問月	地域	件数	主な業種
令和7年4月	道内	2 件	エネルギー、運輸業
	関東	1 件	船社、
5月	関東	3 件	船社、エネルギー
	中国・四国	1 件	エネルギー
6月	関東	3 件	総代理店
	九州	1 件	海運
7月	道内	4 件	運輸業、エネルギー
	関東	1 件	エネルギー
8月	道内	8 件	運輸、水産関連会社、エネルギー
9月	道内	1 件	エネルギー
	関東	2 件	船社、エネルギー
	欧州（ドイツ）	7 件	船社、総代理店
10月	道内	2 件	エネルギー、旅行代理店
	関東	1 件	エネルギー
	関西	1 件	エネルギー
	九州	1 件	運輸業
11月	道内	1 件	運輸業
	関東	4 件	船社、代理店
12月	道内	1 件	旅行代理店
	関東	1 件	船社
	アジア（台湾）	12 件	商社、海貨業者
令和8年1月	関東	2 件	船社
2月	道内	1 件	エネルギー

3 新規航路誘致活動

他港との連携や新規航路の誘致に向けた取組の実施

はちとまネットワーク（苫小牧市—八戸市交流連携）

…フェリー航路を活用した交流人口の拡大や、新たな海外コンテナ航路の開設等による物流機能の強化等の面において都市間連携による相乗効果を得ることを目的に、苫小牧市と八戸市（青森県）の間で平成30年7月31日に協定を締結し、取組を実施。当協議会は、「物流・貿易」分野において東南アジアコンテナ定期航路の誘致やフェリーのPRなどを実施した。

令和7年度の実施内容

開催日（場所）	項目	内容
令和7年10月7日（火） （ホテルウィングインターナショナル 苫小牧）	はちとまネットワーク会議	1 各分野の事業経過報告 2 意見・情報交換

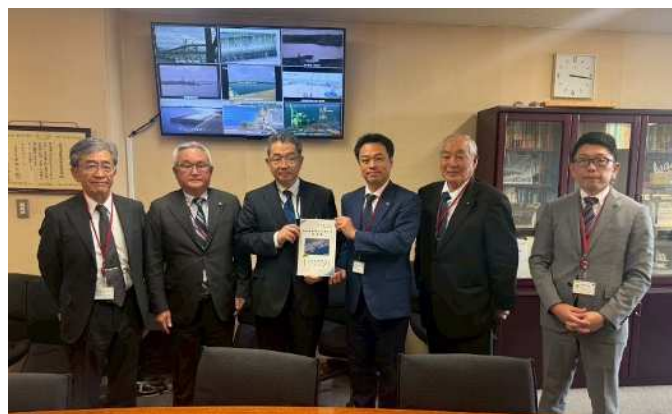
※詳細別添資料

……東南アジア等コンテナ航路運航支援事業（苫小牧港管理組合の単独事業）

4 海事官庁の強化促進

「苫小牧海事官庁強化促進期成会」の会員として関係機関に要望活動を実施

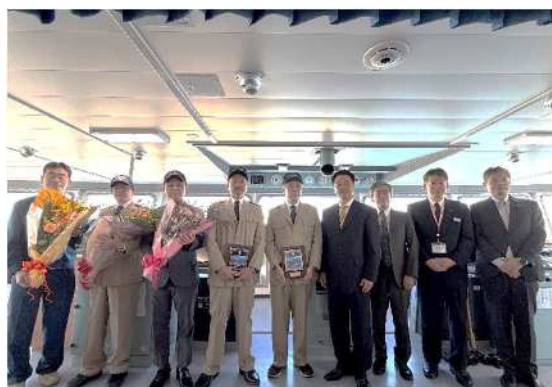
実施日	項目	内容
令和7年9月12日（金） （書面開催）	令和7年度苫小牧海事官庁強化促進期成会総会	海事官庁強化等に関する道内要望及び中央要望を実施することを決定
令和7年9月18日（木） ～ 10月15日（水）	道内要望	海上保安庁、財務省、国土交通省等に要望 【要望項目】 1 海上保安署の体制強化 2 海上保安署の保安部昇格 3 東港区へのコンテナ検査施設の設置
令和7年8月21日（木） 10月23日（木） ～ 10月24日（金）	中央要望	4 函館税関苫小牧税関支署の体制強化 5 苫小牧海事事務所の運輸支局への昇格



5 歓迎訪船事業（入港歓迎セレモニー）

入港歓迎セレモニーの実施

実施日（場所）	船名（船種）	内容
令和7年7月18日（金） （西港区・開発フェリーふ頭）	さんふらわあぴりか （フェリー）	1 記念盾・記念品の贈呈 ※悪天候のためセレモニーは中止
令和7年11月27日（木） （西港区・南ふ頭）	関鯨丸・勇新丸 （捕鯨母船・捕鯨船）	1 初入港歓迎セレモニー 2 記念盾・記念品の贈呈



6 PR 活動

展示会・商談会等に出展し、苫小牧港の利便性等の PR 活動を実施

(1) 展示会への参加

開催日（場所）	展示会名	内容
令和7年4月 9日（水） ～4月11日（金） （インテックス大阪）	第6回 関西物流展 （来場者数：約2.6万人）	来客数：230人 ※苫小牧港管理組合としてブース出展
令和7年9月10日（水） ～9月12日（金） （東京ビッグサイト）	国際物流総合展2025 （来場者数：約5.3万人）	来客数：162人 ※苫小牧東部開発連絡協議会、苫小牧地区企業誘致連絡協議会、苫小牧港利用の3者でブース出展
令和8年3月17日（火） ～3月19日（木） （東京ビッグサイト）	第25回 SMART ENERGY WEEK [春] （来場者数：約6.8万人）	来客数：91人 ※苫小牧 CCUS・ゼロカーボン推進協議会、苫小牧東部開発連絡協議会、苫小牧地区企業誘致連絡協議会、日本 CCS 調査（株）の4者でブース出展

(2) 広告掲載

掲載日	掲載紙	内容
令和7年8月発行	日本海事新聞 別冊	八戸港と連携し、「日本コンテナ航路一覧」への広告掲載を実施

掲載内容

北海道との海上輸送は**苫小牧港**をご検討ください！



-  **道内一の外航定期航路数**(6航路週6便)
※内航定期航路数も国内有数！(21航路週107便)
-  **道内主要都市とのアクセスが良好**
(札幌まで約1時間、新千歳空港まで約20分)
-  **積雪が少なく安定的な運営**
-  **充実した荷役機械により迅速なサービスを提供**

道内最大級の冷凍冷蔵倉庫 国内唯一の移動式検査場 全国有数のリーフ・アップ 数確保

詳しくはホームページまたはお電話で！
担 当：苫小牧港管理組合 政策推進課
電話番号：0144-34-5903



7 利用促進の調査研究

効果的なポートセールス活動の方策について調査研究を実施

開催日（場所）	項目	内容
令和7年4月11日（金） （書面開催）	ポートセールス研究会	国内・海外ポートセールス活動について

令和7年度一般会計決算

収入済額 4,312,340 円
 支出済額 3,511,140 円
 差 引 801,200 円 (次年度へ繰越)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額 (A)	収 入 済 額 (B)	差 引 (B) - (A)	備 考
会 費	3,990,000	4,010,000	20,000	会員=67企業・団体 (1,604口×2,500円)
ポ-トセール 繰入金	0	0	0	
繰越金	298,353	298,353	0	前年度からの繰越
諸収入	347	3,987	3,640	預金利息
合 計	4,288,700	4,312,340	23,640	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額 (A)	支 出 済 額 (B)	差 引 (A) - (B)	備 考
事業費	1,800,000	1,110,150	689,850	理事会・総会・講演会 495,964 入港歓迎セミナー 17,380 国際物流総合展2025 582,806 はちとまネットワーク 14,000
会議費	0	0	0	
事務費	20,000	0	20,000	
ポ-トセール 積立金	2,400,000	2,400,990	△990	
予備費	68,700	0	68,700	
合 計	4,288,700	3,511,140	777,560	

令和7年度 特別会計 事業報告

1 輸出拡大に対する支援

北海道開発局と連携した小口混載コンテナ輸出拡大の取り組み

(1) 事業内容

台湾への小口混載コンテナ輸出について、代表輸出者が貨物を収集し、代表輸入者へ輸送する方法で貨物量を確保する。当協議会では、事業費の内、輸送に係る費用で不足が生じた場合、利用促進協議会から支援を実施する。

(2) 目的

- ・小口混載コンテナ輸送の定期サービスの確立
- ・北海道産の農水産品、加工食品等の輸出促進

(3) 支援対象

海上運賃や輸出入にかかる費用の不足分について支援

(4) 輸送実績

	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便
バンニング日	6/26	7/24	8/27	9/26	10/28	10/29
コンテナ形態	常温	冷蔵	常温	常温	冷蔵	冷凍
品目数	59	8	42	46	71	10
貨物量(トン)	8.4	4.9	10	10.7	11.8	4

(5) 主な貨物

加工食品、アルコール飲料等

(6) 取組結果

- ・ベースカーゴの導入等により安定的な輸送につながったことから、令和7年度は費用等の不足はなく、利促協からの支援はなし。
- ・一方、複数品目による通関の大幅な遅れがあったため、更なる安定的な輸送のためには、検査難度などでの貨物のグループ分け等の工夫が必要。



令和7年度特別会計決算

収入済額 1,733,494 円
 支出済額 0 円
 差 引 1,733,494 円 (次年度へ繰越)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額 (A)	収 入 済 額 (B)	差 引 (B) - (A)	備 考
負 担 金	4,000,000	0	△4,000,000	事業費に不足が生じなかったため、収入無し
繰 越 金	1,730,574	1,730,574	0	
諸 収 入	426	2,920	2,494	預金利息
合 計	5,731,000	1,733,494	△3,997,506	

【支出の部】

科 目	予 算 額 (A)	支 出 済 額 (B)	差 引 (A) - (B)	備 考
事 業 費	5,731,000	0	5,731,000	関係機関との連携した輸出拡大に向けた取組において、輸送費の不足が生じなかったため、支出なし
事 務 費	0	0	0	
予 備 費	0	0	0	
合 計	5,731,000	0	5,731,000	

令和7年度 ポートセールス積立金会計 決算

収入済額 3,101,850 円
 支出済額 0 円
 差 引 3,101,850 円 (次年度へ繰越)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額 (A)	収 入 済 額 (B)	差 引 (B) - (A)	備 考
繰入金	2,400,000	2,400,000	0	
繰越金	700,667	700,667	0	
諸収入	333	1,183	850	預金利息
合 計	3,101,000	3,101,850	850	

【支出の部】

科 目	予 算 額 (A)	支 出 済 額 (B)	差 引 (A) - (B)	備 考
事業費	0	0	0	
事務費	0	0	0	
予備費	3,101,000	0	3,101,000	
合 計	3,101,000	0	3,101,000	

令和7年度 会計監査報告について

令和7年度苫小牧港利用促進協議会決算について、現金出納簿、収支計算書、伝票及び預金通帳等の関係帳簿並びに証拠書類を監査した結果、収入、支出ともに正確であり、かつ適正に処理されていることを確認しましたので報告します。

令和8年5月19日

監事 苫小牧商工会議所
専務理事
外 圍 心 一



協議事項

令和8年度一般会計事業計画（案）

令和8年度活動内容

1 会議の開催

総会及び理事会を開催

2 国内・海外ポートセールス活動

(1) 日本・海外の荷主及び船社等を訪問するポートセールス活動の実施

(2) 苫小牧港セミナーin 東京2026の開催

日程：令和8年月11月11日（水）

場所：東京都台東区西浅草3-17-1 「浅草ビューホテル 4階 飛翔」

3 新規航路誘致活動

他港との連携や新規航路の誘致に向けた取組の実施

4 海事官庁の強化促進

「苫小牧海事官庁強化促進期成会」の会員として、関係機関に要望活動を実施

5 歓迎訪船事業

新造船等に対する入港歓迎セレモニーの実施

6 PR活動

展示会・商談会等に出展し、苫小牧港の利便性等のPR活動を実施

開催日	事業名	場所
令和8年9月 8日（火） ～11日（金）	第17回 国際物流総合展2026	東京ビッグサイト
令和9年3月24日（水） ～26日（金）	SMART ENERGY WEEK	東京ビッグサイト

7 利用促進の調査研究

ポートセールス研究会を中心に、効果的な事業等について調査研究を実施

8 会員の拡大

会員の勧誘等を実施

令和8年度 一般会計予算（案）

【収入の部】

（単位：円）

科目	令和8年度予算額 (A)	令和7年度予算額 (B)	比較増減 (A)-(B)	備考
会費	4,010,000	3,990,000	20,000	会員=67企業・団体(1,604口×2,500円)
ポータルズ 繰入金	850,000	0	850,000	
繰越金	801,200	298,353	502,847	前年度からの繰越
諸収入	2,406,000	347	2,405,653	利息 1,000 セミナー参加者負担(20社370名分) 2,405,000
合計	8,067,200	4,288,700	3,778,500	

【支出の部】

（単位：円）

科目	令和8年度予算額 (A)	令和7年度予算額 (B)	比較増減 (A)-(B)	備考
事業費	8,050,000	1,800,000	6,250,000	総会・講演会 600,000 入港歓迎セミナー 100,000 国際物流総合展 600,000 セミナー(東京) 6,700,000 その他 50,000
会議費	0	0	0	
事務費	10,000	20,000	△10,000	
ポータルズ 積立金	0	2,400,000	△2,400,000	
予備費	7,200	68,700	△61,500	
合計	8,067,200	4,288,700	3,778,500	

令和8年度特別会計事業計画（案）

1 輸出拡大に対する支援

(1) 関係機関との連携

- ・引き続き、国土交通省北海道開発局で取り組んでいる、「小口混載輸出」の促進事業へ協力することにより、苫小牧港の貨物量の増加及びコンテナ取扱本数増加へつなげる
- ・令和8年度では、令和7年度の取り組みをベースに、貨物を検査難度などでグループ分けし、複数回輸入申告を行うことや、通関業者複数体制による負担の分散を行い、更なるベースカーゴ事業者の開拓、継続による認知度の向上、台湾への小口輸送スキームの確立に取り組む。

【小口混載コンテナ】



令和8年度特別会計予算(案)

【収入の部】

(単位:円)

科目	令和8年度予算額 (A)	令和7年度予算額 (B)	比較増減 (A) - (B)	備考
負担金	4,000,000	4,000,000	0	事業費に不足があれば、苫小牧港管理組合より負担金を支出
繰越金	1,733,494	1,730,574	2,920	
諸収入	1,006	80	926	預金利息
合計	5,734,500	5,730,654	3,846	

【支出の部】

科目	令和8年度予算額 (A)	令和7年度予算額 (B)	比較増減 (A) - (B)	備考
事業費	5,734,500	5,886,208	△151,708	輸出拡大に対する支援 トライアル輸送等に対する支援
事務費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
合計	5,734,500	5,886,208	△151,708	

令和8年度ポートセールス積立金会計予算(案)

【収入の部】

科目	令和8年度予算額 (A)	令和7年度予算額 (B)	比較増減 (A) - (B)	備考
繰入金	0	2,400,000	△2,400,000	令和7年度は一般会計より繰入
繰越金	3,101,850	700,667	2,401,183	
諸収入	1,000	333	667	預金利息
合計	3,102,850	3,101,000	1,850	

【支出の部】

科目	令和8年度予算額 (A)	令和7年度予算額 (B)	比較増減 (A) - (B)	備考
事業費	850,000	0	850,000	
事務費	0	0	0	
予備費	2,252,850	3,101,000	△848,150	
合計	3,102,850	3,101,000	1,850	

苫小牧港利用促進協議会 会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、苫小牧港利用促進協議会と称する。

(目的)

第2条 本会は、苫小牧港における内外貿易の促進を図り、港湾の振興と発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 船舶及び貨物の誘致に関すること。
- (2) 内、外国定期航路の誘致に関すること。
- (3) 港湾知識の普及に関すること。
- (4) 苫小牧港の宣伝に関すること。
- (5) 港湾情報の交換及び会員相互の親睦に関すること。
- (6) その他、本会の目的達成に必要なこと。

第2章 会員

(会員)

第4条 本会の会員は、本会の趣旨に賛同する企業及び団体とする。

(会費)

第5条 会員は、総会で別に定める会費を納入しなければならない。

2 部会費は別に定める方法で別途徴収することができる。

第3章 役員等

(役員)

第6条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 会長代理 1名
- (3) 理事 若干名
- (4) 監事 若干名

(選任等)

第7条 役員は、会長が指名し、総会において承認する。ただし、会長は会員の互選によるものとする。

- 2 役員の任期は、2カ年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 役員は、任期満了しても次期役員が就任するまで、その職務を行うものとする。
- 4 役員は、任期途中の異動等により退任があった場合には、出身団体等の後任者が就任するものとする。この場合において、その任期は前任者の残任期間とする。

(職務)

第8条 会長は、本会を代表し、その業務を総理する。

- 2 会長代理は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 3 理事は、理事会を構成し、会則及び総会の議決に基づき、本会の業務を遂行する。
- 4 監事は、会計を監査する。

(顧問及び参与)

第9条 本会に顧問及び参与を置くことができる。

- (1) 顧問は、会長の諮問に応じ及び会議に出席して意見を述べることができる。
 - (2) 参与は、会長の要請に応じ、本会の事業遂行に関する重要事項に参与することができる。
- 2 顧問及び参与は、会員にかかわらず関係機関・団体、企業及び学識経験者の中から理事会の議決を経て、会長が委嘱する。

第4章 会議等

(総会)

第10条 総会は、本会の運営に関する重要な事項を議決する。

2 総会は、毎年一回開催する。

(理事会)

第11条 理事会は、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない会務に関する事項

2 理事会は、必要に応じ随時開催する。

(部会)

第12条 第3条の事業のうち特定の事業を遂行するため、総会の議決を経て部会を設置することができる。

- (1) 部会長は、会員の中から、会長が指名した者があたる。
- (2) 部会は、必要に応じ随時開催する。
- (3) 部会員は、会員の中から、会長が指名する。

(会議の招集等)

第13条 総会及び理事会は、会長が招集し、議長は、会長がこれに当たる。

2 部会は、部会長が招集し、議長は、部会長がこれにあたる。

第5章 財務

(経費)

第14条 本会の経費は、会費、補助金、寄付金等をもって、これに充てる。

(会計年度)

第15条 本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第6章 事務局

(設置等)

第16条 本会の事務を処理するため、事務局を苫小牧港管理組合内に置く。

- 2 事務局に事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 事務局長及び職員は、会長が任免する。

第7章 補則

(その他)

第17条 この会則に定めるもののほか、本会運営に必要な事項は、総会の議決を経て、会長が別に定める。

附 則

- 1 この会則は、平成5年6月8日から施行する。
- 2 本会の当初の役員は、第7条の規定にかかわらず、平成7年3月31日までとする。
- 3 本会の初年度の会計年度は、第14条の規定にかかわらず、当初の総会開催の日から、平成6年6月31日までとする。
- 4 会則第5条に基づく会費の額は、一口2,500円とする。

附 則 (平成16年5月28日改正)

この会則は、平成16年5月28日から施行する。

附 則 (平成18年5月10日改正)

この会則は、平成18年5月10日から施行する。

附 則 (平成21年5月28日改正)

この会則は、平成21年5月28日から施行する。

附 則 (平成22年5月26日改正)

この会則は、平成22年5月26日から施行する。

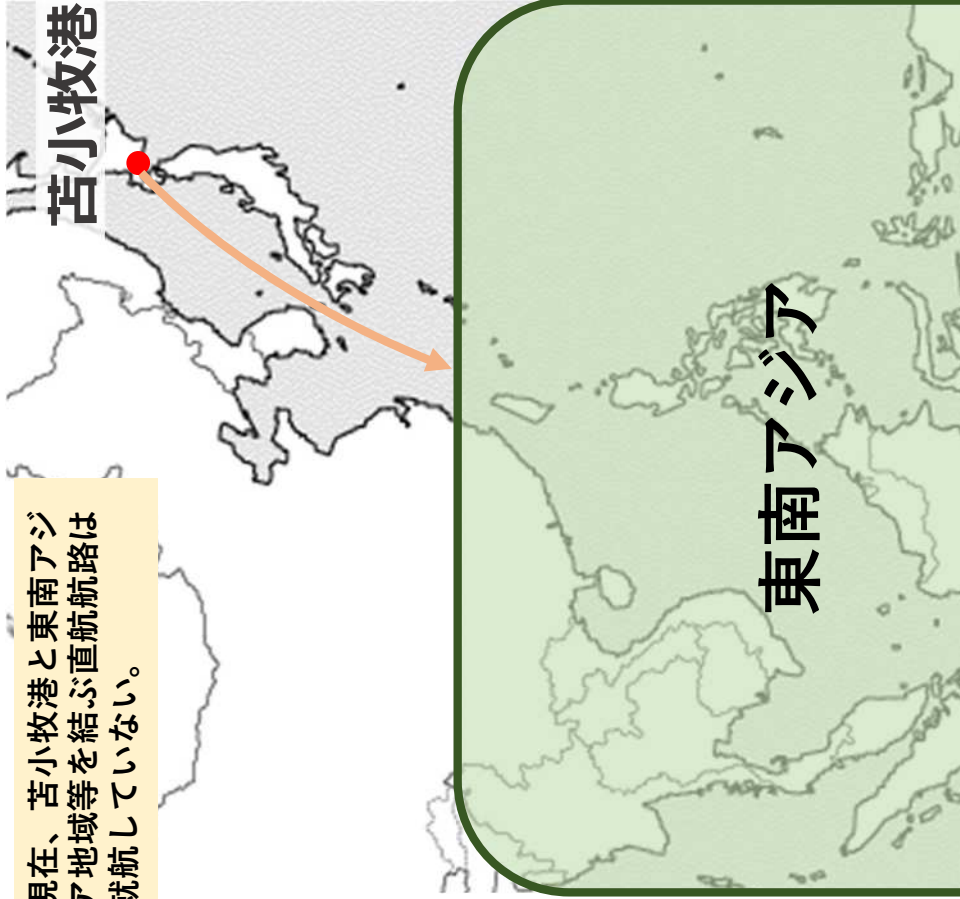
苫小牧港利用促進協議会 会員名簿

いすゞエンジン製造北海道株式会社	株式会社とませい
出光興産株式会社北海道製油所	株式会社苫東
株式会社イワクラ	苫東共同港運倉庫株式会社
岩倉海陸運輸株式会社	苫東コールセンター株式会社
王子製紙株式会社苫小牧工場	トヨタ自動車北海道株式会社
王子木材緑化株式会社北海道支店	ナラサキスタックス株式会社
川崎近海汽船株式会社苫小牧支店	ナラサキ石油株式会社
近海郵船北海道株式会社苫小牧本店	一般社団法人日本貨物検数協会北海道支部
栗林海陸輸送株式会社	日本軽金属株式会社苫小牧製造所
栗林機工株式会社	日本梱包運輸倉庫株式会社苫小牧営業所
株式会社栗林商会苫小牧支社	日本製紙株式会社白老工場
栗林商船株式会社苫小牧支社	日本通運株式会社 Eastカンパニーロジスティクス第七部
札幌通運株式会社苫小牧支店	株式会社ニュートレーディングブリッジ
山九株式会社苫小牧支店	ノーススタートランспорт株式会社苫小牧支店
株式会社商船三井さんふらわあ	菱中海陸運輸株式会社
新日本海フェリー株式会社苫小牧支店	株式会社フジトランスコーポレーション北海道支店
一般社団法人全日検北海道事業所	N X北旺運輸株式会社
太平洋フェリー株式会社苫小牧港営業所	株式会社北洋銀行苫小牧中央支店
苫小牧共同バース管理株式会社	北海運輸株式会社苫小牧支社
株式会社苫小牧協和サービス	北海道運搬機株式会社苫小牧本店
苫小牧栗林運輸株式会社	株式会社北海道銀行苫小牧支店
JX 金属苫小牧ケミカル株式会社	北海道石炭荷役株式会社
苫小牧港開発株式会社	北海道石油共同備蓄株式会社北海道事業所
苫小牧国際コンテナターミナル株式会社	北海道曹達株式会社
苫小牧港管理組合	北海道電力株式会社苫東厚真発電所
苫小牧港木材振興株式会社	株式会社北海道日新
苫小牧港湾振興会	北海道防疫燻蒸株式会社苫小牧事業所
苫小牧商工会議所	株式会社北陸銀行
苫小牧信用金庫	三ツ輪運輸株式会社苫小牧支店
協同組合苫小牧タグセンター	一般社団法人室苫植物検疫協会苫小牧事務所
苫小牧埠頭株式会社	名鉄観光サービス株式会社苫小牧支店
苫小牧北倉港運株式会社	株式会社近畿日本ツーリスト苫小牧営業所
苫小牧水先区水先人会	株式会社日本旅行北海道苫小牧支店
苫小牧木材港運株式会社	

計 67 企業・団体

別 添 資 料

苫小牧港は、農水産品等の輸出拡大に向け、輸出にかかる時間とコストの短縮を目的に、「苫小牧港東南アジア等コンテナ航路運航支援事業」を創設し、苫小牧港と東南アジア地域等を結ぶ直航航路の就航を支援します。



補助概要

◆ 補助対象

苫小牧港と東南アジア地域等を結ぶ航路を新規開設した船社

◆ 補助額

1 寄港あたりかかった経費の10/10以内
上限600万円（※初回寄港に限る）

農水産品の輸出拡大に資する取組

本事業の創設によって期待される新たな航路の就航や、これまで実施してきた農水産品等の輸出拡大に資する各種取組を通じて、**苫小牧港の利便性向上を実現**



農水産品等の輸出貨物を新たに創出し、**5兆円に設定された農林水産物・食品輸出額の政府目標の達成に向けた取組を推進**していく。